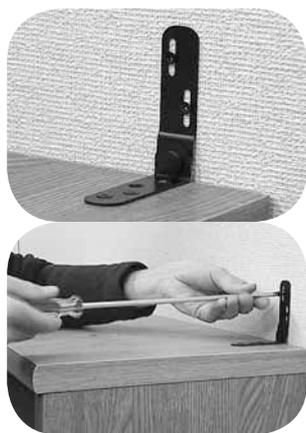
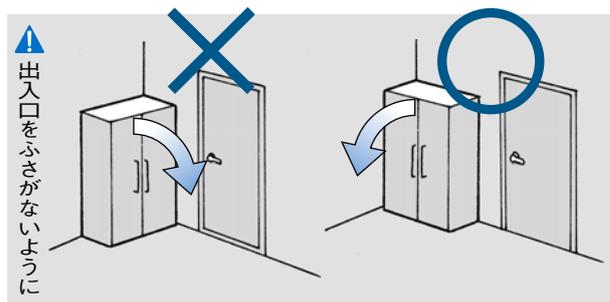
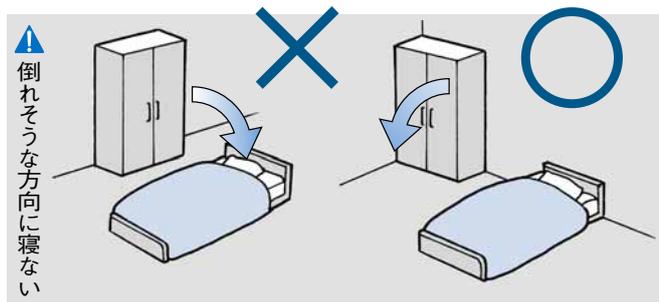
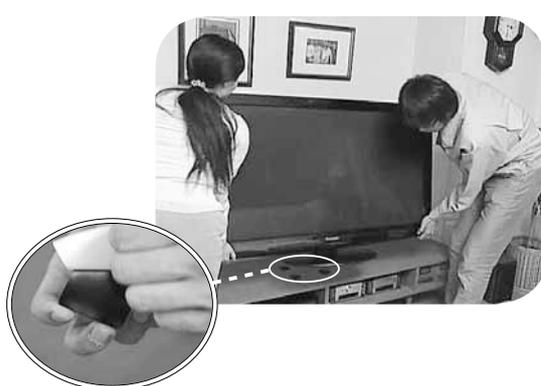


家具の配置と固定で備えよう

家具が倒れて負傷したり、避難路をふさいだりしないように、あらかじめ家具の配置を工夫しましょう。



上置き家具は連結しましょう



薄型テレビも倒れると危険！
耐震パッドなどで転倒防止を

画像提供：札幌市危機管理対策室

さらに、L字金具や突っ張り棒などで家具を柱や壁に固定するなど、簡単に倒れないように補強しましょう。いずれの場合も、家具との間に遊びができないように注意が必要です。札幌市防災DVD(まちづくりセンターなどで貸し出し可)では、上記の方法以外にも参考になる情報を紹介しています。

これだけは用意しておこう

暖房が使えなくなる場合を考え、札幌では特に、防寒対策をしっかり立てる必要があります。

衣類



寒い時期にはダウンジャケットなど厚手の防寒着を。下着の替えも忘れずに

その他

窓から出ることもあり得るよ。割れたガラスも危ないから、靴の用意もね



←常用している薬



←懐中電灯やラジオ



←現金、カードなど



食べ物と水は、最低でも3日分は必要だね

食料品・飲料水



←乾燥米飯は水を入れて60分(熱湯は20分)で食べることができます

調理不要の缶詰やパック詰めのご飯などを常備しておきましょう(消費期限は前もって確認しておきましょう)。

地震防災マップ(区役所で配布中)も参考にして、非常持出品、家庭備蓄品を備えておきましょう。